

支援プログラム

事業所名

児童発達支援とものわ

作成日

令和6年

12月

25日

法人（事業所）理念		人々の日常に夢と希望と信頼のネットワークを築き、快適で笑顔のある生活環境を創造することに努め社会に貢献します	
支援方針		<p>○個々の発達の状態や特性に応じて、今の困りごとの解決と、将来の自立と社会参加を目指して支援します</p> <p>・一人ひとりの発達に合わせて支援（個別支援）・できることを増やしたり、隠れている力を引き出す ・できた！を積み重ね、チャレンジする心や意欲を育てる</p> <p>○ご本人と保護者様が安心して、信頼して頂けるような関係づくりを目指します</p> <p>○地域や移行先との連携を強化し、常に協力的な体制でいることを心掛けます</p>	
クラス		集団療育	個別療育
営業時間		9時30分～13時45分	14時00分～15時45分
送迎		あり	なし
支援内容			
本人支援	健康・生活	<p>静と動の活動をバランスよく取り入れ、心身の健康を育む</p> <p>屋内活動…はじまりの会、ふれあい遊び、リズム体操、設定活動、自由遊び 屋外活動…公園(春・秋・冬)、プール(夏)の活動 ※悪天候時…室内の運動部屋</p> <p>登所→運動部屋にて体を動かす→絵本で気持ちを落ち着く→個別課題に集中→自由時間でリラックスの流れを意識する</p>	
	運動・感覚	<p>様々な活動を通して、日常生活に必要な姿勢や動作を学ぶ</p> <p>設定活動…体幹やバランスを意識したサーキット活動やゲーム等を取り入れる・製作活動を取り入れ、楽しみながら手先を使ったり、イメージする力を養う</p> <p>課題中の座る姿勢に注目。太田ステージのステージ評価を行い、ステージごとに定められた項目（目と手の協応の動き）を順番に取り組んでいく</p>	
	認知・行動	<p>自分で考え行動できる力を養う</p> <p>人の話を聞いたり、周囲の様子を見て、自分で考え行動できる力を養う 例) 製作→職員の手本を見る/設定活動→ルールを理解する</p> <p>太田ステージを用いて、※認知の発達を促していく ※見る・聞く力の向上→自分で考えて行動する</p>	
	言語 コミュニケーション	<p>思いや考えを相手に伝える手段を身に付ける</p> <p>児の感情に気づき、表現しようとしていることを受け止める。適切な要求表現、自分の思いを伝える言葉を具体的に示し、一緒に伝える練習をする</p> <p>課題中の職員との一対一でのコミュニケーションを深める 課題後の自由遊びにて、他児と関わりコミュニケーションを学ぶ</p>	
	人間関係 社会性	<p>集団生活におけるルールやマナーを知り、社会性を育む</p> <p>活動や遊びを通して他者と関わり、集団生活に必要なルール・マナーを身につける</p> <p>課題後の小集団での自由遊びにて、他児と関わり遊びのルールや人との関わりを学ぶ</p>	
家族支援		<p>とものわ・家庭での様子を共有し、安心してご利用頂く</p> <p>・連絡ノートや面談等で日々の様子や支援内容を共有する ・ご家庭での困り事は、保護者の気持ちに寄り添い、解決策を一緒に考える</p>	
移行支援		<p>本児・ご家族が安心して生活できるよう支援する</p> <p>・併用機関や移行先への情報提供を図る ・本児やご家庭の思いを汲み取り、スムーズに次のステップへ移行できるよう助言を行う</p>	
地域支援・地域連携		幼稚園・保育園、他療育施設と日々の様子や支援内容を共有し、連携を図る	
職員の質の向上		<p>外部のオンライン研修を受講し、研修内容を職員間で共有する 定期的にケース会議を開き、支援内容について話し合う</p>	<p>主な行事等</p> <p>季節の変化を感じられるよう、その季節に沿った活動内容を取り入れる (春…ちょうちょ製作 夏…プール 秋…果物狩り 冬…お正月遊び)等</p>